

令和4年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果一覧(北アルプス地域)

No	事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
1	大町で体験する健康食育事業	大町市	健康的な食習慣の定着につなげるため、健康メニューを提供する飲食店のスタンプラリーによる地域の食環境整備、野菜摂取量測定会や展示、レシピ集等による食育啓発活動を実施する。 ①バランスごはんスタンプラリー(1,580千円)、おうちでバランスごはん(16千円)、野菜摂取量測定会(330千円)、保健センター菜園(18千円)	1,942,245	1,302,000	バランスごはんスタンプラリーを実施し、健康に配慮したメニューを提供する飲食店の拡大を図るとともに、住民に健康メニューをPRしました。 また、野菜摂取量測定会や市役所等での展示、SNSを活用した情報提供等により、食事・栄養に関する啓発を行いました。 今後も継続して食事・栄養に関する啓発を行うことで、健康的な食習慣の定着につなげることを期待します。
2	大町市内ライトアップ事業	大町市	大町市内の宿泊客の満足度向上及び夜間の観光コンテンツ充実のため、歴史的建造物等を活用したライトアップイベントを開催し、夜間の市内観光の拡充を図る。 ①ライトアップイベント(1,895千円) ②ライトアップ機材(事業費1,980千円)	3,874,640	1,515,000	夜間の観光コンテンツとして、仁科神明宮、霊松寺、大町温泉郷で夜間ライトアップを行いました。 今後、夜間の観光コンテンツとして定着し、他のイベント等との連携も図りながら、年間を通じた誘客と回遊性向上につなげることを期待します。
3	鹿島川左岸堤防遊歩道整備事業	はなみフローズ	鹿島川左岸堤防は北アルプスの眺めが良く、観光客等が鹿島川の清流と北アルプスの山並みを撮影しているため、観光資源として活用することを目的に、遊歩道を整備する。 ②遊歩道整備等(2,123千円)	2,123,000	1,592,000	鹿島川左岸堤防に、堤防からの眺めを楽しめるよう遊歩道を整備しました。遊歩道には、地域住民や近隣の小・中学生にも参加を呼びかけ、テーブル、椅子等を設置しました。 引き続き地域住民等と協力して残る区間の遊歩道を整備し、遊歩道をイベント等で広く活用することで、来訪者の増加や地域の活性化につなげることを期待します。
4	信濃の国民話フェスティバル	信濃の国民話プロジェクト実行委員会	民話を伝える活動を行っているグループが一堂に会し、それぞれ特色を生かした活動を発表し合う民話フェスティバルを開催する。また、長野県を「民話の郷」として発信し、滞在型観光を目指す。 ①フェスティバル開催(事業費998千円) うち会議費(90千円)	997,421	742,000	民話を伝える活動を行っているグループが各地域の民話を発表する「信濃の国民話フェスティバル」を開催しました。 今回の開催を通じて、各地域の民話伝承の活動がさらに活発になり、地域の活性化につなげることを期待します。
5	北アルプス地域の魅力度アップ及びブランド力アップと移住、定住、関係人口増による地域振興	一般社団法人青空市場 長野県支部	北アルプス地域の知名度・ブランド力の向上を図るため、首都圏で開催されるマルシェに出店し、農産物等の販売やPRを行う。併せて、移住定住相談会や移住定住促進のための交流会を実施する。 ①マルシェ出店(225千円)、移住定住相談会(724千円)、交流会(586千円)、広報等(399千円)	1,933,040	1,497,000	首都圏において、マルシェへの農産物等の出店、大町市内の酒造所のお酒等をふるまうイベントの開催、移住・定住案内等を行い、北アルプス地域の魅力を発信しました。 引き続き、北アルプス地域への移住・定住や関係人口の増加につながる取組に期待します。
6	シェアサイクルによる北アルプス広域観光推進事業	一般社団法人大町市観光協会	駅前をハブとしたサイクル拠点を増やし、市内3拠点でレンタサイクル・シェアサイクル事業を展開する。自転車観光を目的とした誘客を図るため、SNSを活用し動画配信を行う。 ①シェアサイクル備品2台分等(307千円)、位置情報取得機(224千円)、動画制作等広告(1,581千円) ②e-バイク2台(627千円)	2,736,807	2,105,000	大町温泉郷内に新たなサイクル拠点を整備し、大町市内における自転車周遊型観光体制を強化しました。 また、大町市でのサイクリングをPRする動画を作成し、配信しました。 今後も、利用者のニーズを捉えながらレンタサイクル・シェアサイクルの利用環境を整備し、自転車を利用した観光の増進につなげることを期待します。
7	大町市農産物等輸出促進事業	大町市農産物等輸出協議会	地域の将来の農業振興を見据え、海外へ販路を広げるため、香港でのPRキャンペーン、海外事業者による市の視察、輸出事業に係るセミナーを実施する。 ①海外PR事業費(事業費3,458千円) うち、おにぎり店におけるPR費(2,369千円) 農産物等輸出セミナー(事業費45千円)	3,502,705	2,755,000	香港のおにぎり店におけるPR動画上映等や海外事業者招へいにより農産物等の海外PRを実施するとともに、海外輸出への理解促進を図るためのセミナーを開催しました。 引き続き、安定した農業経営と地域の農業振興のため、海外における販路拡大の取組に期待します。
8	信濃大町スイーツプロジェクト2022	大町市プロモーション委員会	アルペンルート観光を目的とした観光客に市内の周遊観光を促すため、「信濃大町スイーツプロジェクト」を実施する。タンブラーを台紙に店舗ごとにステッカーを配布するスイーツラリーや、Instagramによる景品プレゼントキャンペーンにより、観光誘客の増加を図る。 ①スイーツラリー(事業費956千円)、Instagramキャンペーン(220千円)	1,175,041	503,000	対象のスイーツ又はコーヒー購入でオリジナルステッカーを配布するスイーツラリーやInstagramを利用した景品プレゼントキャンペーンを実施し、アルペンルートと一体化した市内観光コンテンツの拡充を図りました。 引き続き、アルペンルートと併せた市内の周遊観光の促進につながる取組の実施に期待します。
9	北アルプス登山バス事業	一般社団法人木崎まちづくりラボ	コロナ禍によるアウトドアブームなどにより登山者が増えている。登山口周辺の車増加解消と登山者の利便性向上を図るため、ゆーぶる木崎湖を拠点とし、登山口へのバスを運行する。 ①バス委託(52.8千円×47日→事業費2,482千円)、広告費(事業費459千円) ②バスへの看板設置(事業費200千円)	3,140,600	1,983,000	アクセス性向上による登山者の増加及び登山口の駐車場問題の解消を図るため、ゆーぶる木崎湖を拠点に登山口へのバスを運行しました。 今後も、登山者の利便性の向上を図り、登山者の増加及び市内の活性化につながる取組に期待します。

No	事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
10	中高生に向けた地域発アントレプレナーシップ教育の試み	北アルプス YouthEntre実行委員会	北アルプス地域の中学生・高校生を対象に、今後の地域づくりに求められる能力を養成するため、アントレプレナーシップ教育として、起業塾を開講する。併せて、地域におけるアントレプレナーシップ教育への理解を深めるため、大人向けの研修を実施する。 ①起業塾(235千円)、大人向け研修(111千円)、コーディネーター料(280千円)	624,453	499,000	起業塾を開講し、中学生・高校生を対象としたアントレプレナーシップ教育に取り組むとともに、大人向けの研修を行い、地域におけるアントレプレナーシップ教育への理解の深化を図りました。 今回得た成果や課題を活かし、地域の若者の力を高める取組が継続して行われることを期待します。
11	童謡“てるてる坊主”による伝統文化の伝承、人材育成事業	池田町	地域住民等が地域に愛着と誇りを持ち、文化活動の活性化・地域づくり・人材育成につなげるため、浅原六朗と童謡“てるてる坊主”をテーマにした映像コンテンツを制作し、テレビ放映及び映像配信を行う。 ①映像コンテンツ制作(1,012千円)、電波料(事業費275千円)、Web掲載(330千円)、出演者謝礼(55千円)、著作権使用料(55千円)	1,727,000	1,089,000	浅原六朗の生涯や童謡“てるてる坊主”に関する映像コンテンツを制作し、テレビ放映及び配信を行うとともに、映像をDVD化しました。 町の文化活動の伝承及び発信につながる取組の継続を期待します。
12	ものづくり人材育成地域連携推進事業	池田町	ものづくり産業における次世代の担い手の確保、地域を支える人材の育成を図るため、学校・企業間の調整や学校・地域・企業の連携に取り組むコーディネーターの配置、生徒のスキルアップのためのIT講習を行う。 ① コーディネーター活動報償費、講師謝礼(695千円)	694,800	555,000	配置したコーディネーターが企業を訪問し、研修や就職受け入れの交渉を行いました。 また、生徒のスキルアップのため、町内のIT教育専門学校と連携し、IT講習を実施しました。 今後も取組を継続することで、地域のものづくりを支える人材の育成・確保につながることを期待します。
13	池田町由来の酒類とコース料理を楽しむイベント	一般社団法人池田町観光協会	池田町のブランド力向上、酒類愛好家の増加、町内生産製品の販路拡大等を目的に、池田町のお酒とコース料理を楽しむイベントを開催する。 ①広告宣伝、参加者送迎、メニュー作成等(事業費2,485千円) うち、FM長野番組タイアップ(660千円)、飲食・飲料代(事業費902千円)	2,484,414	1,265,000	池田町の日本酒やワインの販路拡大、町のブランド力向上等のため、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、コース料理とともに酒類を提供するイベントを開催しました。 今後もイベントの開催を継続することで、池田町の酒類等のファンがさらに増え、観光誘客や酒類等の販路拡大につながることを期待します。
14	「北アルプス安曇野ワインバレー」ブランド化推進事業～北アルプス山麓ワインツアー～	北アルプスワインどう研究会	消費者に「北アルプス安曇野ワインバレー」の魅力を体感してもらい、当該ワインバレーの知名度向上やブランド化の推進を目的に、生産者との交流、ワイナリー見学等を内容とするツアーを開催する。 ①バス借上料、宿泊施設利用料、講師謝礼等(事業費1,448千円)	1,447,093	800,000	北アルプス安曇野ワインバレーの魅力をPRするため、北アルプス山麓ワインツアーを実施しました。 今後も取組を継続することで、当該ワインバレーのブランド力をさらに向上させるとともに、ワインを通じて北アルプス地域の魅力アップにつながることを期待します。
15	白馬村に存在する氷河の観光資源化に向けた事業	白馬村	2019年に氷河であることが確認された唐松沢雪渓などの氷河の観光活用に向けた検討を行う。また、潜在氷河(不帰沢、杓子沢、白馬沢)の可能性調査や地域資源としての教育的活用を行う。 ①観光活用に向けた検討(1,062千円)、潜在氷河の可能性調査(4,864千円)	5,925,110	3,555,000	氷河の観光活用に向けて、ロゴの作成及び今後の取組の検討を行いました。 また、氷河である可能性が高い不帰沢、杓子沢及び白馬沢について調査を実施するとともに、白馬村文化祭で氷河調査に関する展示を行い、村民に周知を図りました。 氷河が地域に広く認知され、新たな観光コンテンツとして誘客につながることを期待します。
16	白馬村宿泊産業イノベーション研修実践事業	白馬村	通年型マウンテンリゾートを実現し「稼げる観光地づくり」を推進するため、潜在環境の魅力づくりを目的に、村内の宿泊施設経営者等に対して、宿泊産業イノベーション実践研修を実施する。 ①研修会開催費(4,920千円)	4,919,200	3,064,000	宿泊施設経営者等を対象に、講習、グループワークを行い、個々の経営力及びサービスの質の向上につなげるとともに、3年間の研修を踏まえ持続可能な宿泊業を提案するシンポジウムを開催しました。 また、宿泊施設同士の横のつながりの強化とビジョンの共有を図り、地域全体における宿泊産業のイノベーションの機運が高められました。 今後も取組を継続することで、地域全体の宿泊産業の生産力や魅力が向上し、宿泊産業の活性化につながることを期待します。
17	震災アーカイブを活用した自立的な学びと語り継ぎの仕組みづくり事業	白馬村	次なる災害に備え、住民の防災意識の向上と震災の記憶・記録の継承を図るため、小学校における震災アーカイブを活用したフィールドワーク、公民館講座、防災減災セミナー、災害アーカイブ展等を実施する。 ①地域防災教育(事業費697千円)、災害アーカイブ展等開催(320千円) ②地表地震断層周辺整備(事業費2,739千円)、震災アーカイブ看板設置(450千円)	4,204,600	1,007,000	これまで整備してきた神城断層地震震災アーカイブを活用し、地元小学校において防災教育を行いました。 また、アーカイブサポーター養成講座や視察ツアー受け入れを行うとともに、地元企業と協働で防災減災セミナーを開催しました。 今後も取組を継続することで、震災の記憶・記録が継承され、地域住民の防災意識向上につながることを期待します。
18	白馬五竜を美しく彩る紫陽花植栽	白馬五竜観光協会	白馬五竜エリアを美しく彩ることで、地域の美観の形成、自然環境の再生・改善、グリーンシーズンにおける誘客促進等を目指し、村道等にアジサイを植栽する。 ①アジサイ植栽(1,514千円) うち、苗代(1,057千円)、肥料代(264千円)	1,513,380	1,210,000	地域の景観を向上させるため、アジサイを道路沿いに植栽しました。 植栽区間の維持管理を継続することで、グリーンシーズンの観光スポットや大会等のコースとなり、白馬村の新たな名所となることを期待します。

No	事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
19	新型コロナ感染症受診支援搬送サービス事業	白馬・小谷新型コロナ受診支援対策協議会	<p>コロナ禍において、新型コロナウイルス感染症に感染した疑いがあるが移動手段を持たない観光客等に対し、感染防護対策を講じた専用車両による医療機関への搬送サービスを提供する。</p> <p>①運行管理費(2,982千円)</p>	2,982,000	2,385,000	<p>新型コロナウイルス感染症に感染した疑いがあるが自身での移動手段を持たない観光客等に対し、専用車両による搬送サービスを提供し、受診を支援しました。搬送サービスは終了になりますが、将来同様のサービスが必要になった場合に備え、知見とノウハウが継承されることを期待します。</p>
20	白馬駅周辺まちあるき促進景観向上事業	白馬町景観向上チーム	<p>白馬駅前の無電柱化事業に伴って撤去される街路灯を新たなものに整備するとともに、街路にプランター植栽を設置し、店舗等にも花と緑をあつらえることで、環境豊かに「まちあるき」ができる街路空間を創出する。</p> <p>①植栽制作費(220千円) ②工事請負費(7,871千円)</p>	8,090,693	5,000,000	<p>白馬駅前無電柱化事業に関連した地域の取組として、事業に伴って撤去される街路灯を新たなものに整備するとともに、歩道、店舗等にプランター植栽を設置し、白馬駅周辺の街路景観を整備しました。取組を通じて、景観・街並みに対する地域住民や関係者の意識がさらに高まり、白馬駅周辺の景観・街並みがより魅力的なものとなることを期待します。</p>
21	白馬ラン&サイクルスタンプラリー	白馬ラン&サイクルスタンプラリー実行委員会	<p>コロナ禍でも安全に参加できる、村内全域を使った自転車やランニングによるスタンプラリーイベントを実施する。</p> <p>①イベント開催費用(事業費1,216千円)</p>	1,215,373	935,000	<p>白馬村のサイクリングロード「白馬小路」を活用したランニングとサイクリングによるスタンプラリーを実施しました。ゼロカーボン等の観点から、スタンプラリーはチェックポイントでQRコードを読み取るデジタル形式としました。引き続き、多くの人々が地域を訪れる動機付けになる取組の実施に期待します。</p>
22	北安曇支部管内商工会地域のデジタル研修事業	長野県商工会連合会北安曇支部	<p>地域の商工事業者のデジタル化を支援するため、デジタル化推進のための研修会や講座を実施する。</p> <p>①研修会等開催費用(1,460千円)</p>	1,460,000	1,095,000	<p>小規模事業者等を対象に、業務のデジタル化を推進するため、電子申請手続き講座、エクセル活用講座等を実施しました。地域の商工事業者の状況や要望を踏まえ、各事業者が業務のデジタル化に対応できるよう、必要な取組を継続することを期待します。</p>
23	白馬の生業「継続・継承」プロジェクト	白馬お宿倶楽部	<p>宿泊業者の高齢化や後継者不足、コロナ禍による経営難等を踏まえ、宿泊業者の実態を把握するためのアンケート調査を実施する。併せて、誘客につなげるため地域の歴史を学ぶ講習会を開催するとともに、歴史スポットを巡るツアーを実施する。</p> <p>①アンケート調査(63千円)、歴史講習会(346千円)、歴史スポットツアー(事業費11千円)</p>	419,311	326,000	<p>地域の宿泊業者の実態を把握するためのアンケート調査を実施しました。また、「白馬お宝歴史探訪」講習会や歴史スポットを巡るツアーを行いました。今後も地域の魅力を発掘・発信する取組を継続することで、地域の宿泊産業の振興につながることを期待します。</p>
25	白馬駅前オフィス事業	白馬駅前ネットワーク	<p>テレワーク需要拡大を踏まえ、白馬駅前の店舗等の利用者増加を目指し、店舗等のインターネット環境に関する情報を入れたMAP及びweb地図を作成する。</p> <p>①地図製作費用等(396千円)</p>	395,361	316,000	<p>テレワーク可能な白馬駅前の店舗等を記載したMAP及びgoogleMAPと連携したwebの地図を製作しました。製作したMAP及びwebの地図を効果的に用いて情報発信し、白馬駅前の店舗利用者の増加につながることを期待します。</p>
26	新田せせらぎの水車を活用した水力発電によるライトアップ事業	白馬村新田区	<p>老朽化で稼働していない水車を更新することで、地区のシンボルを復活させ、誘客を図る。</p> <p>①看板設置(事業費97千円) ②水車更新(1,760千円)</p>	1,856,800	1,083,000	<p>老朽化して稼働しなくなった水車を更新するとともに、新田区を紹介する看板を設置しました。更新した水車を活用した取組等が行われ、地区のシンボルとして広く親しまれるとともに、地域活性化につながることを期待します。</p>
27	美術館を学校で楽しむ出張美術館で秀作絵画・彫刻に触れる安曇野アートライン展	安曇野アートライン推進協議会	<p>美術館の無い又は遠い小中学校まで作品を持ち込み、教室で優れた本物の絵画作品・彫刻作品を鑑賞する機会を創出する。</p> <p>①出張美術館費用(445千円)</p>	444,292	333,000	<p>小谷中学校において、加盟する美術館等の美術品を集めた出張美術館を開催し、生徒や父兄が美術館等に関心を持つきっかけを作りました。今後も、地域住民が美術館等を身近に感じることができるよう取組に期待します。</p>
28	木流笠地蔵公園環境整備事業	アルプスの会	<p>白馬駅周辺の活性化と利用促進を図るため、木流笠地蔵公園の環境整備、地域文化の体験イベント(七夕祭り)を実施する。</p> <p>①アサギマダラ飛来プロジェクト(165千円)、七夕祭り(64千円) ②広場案内モニュメント設置(837千円)</p>	1,064,475	728,000	<p>木流笠地蔵公園において、蝶が飛来する白馬駅を目指して蝶の食草の植栽や水辺の環境整備を行うとともに、案内モニュメントを設置しました。また、村内の園児も参加して七夕飾りを設置しました。整備された公園が地域住民や観光客に広く認知され、憩いの場として活用されることを期待します。</p>
29	地域と暮らしのゼロカーボン勉強会	地域と暮らしのゼロカーボン勉強会事務局	<p>ゼロカーボン達成に向けた勉強会やワークショップを開催することで、ゼロカーボン実現に貢献する。</p> <p>①勉強会(261千円)、ワークショップ(35千円)</p>	294,859	235,000	<p>ゼロカーボンに関する勉強会及びワークショップを開催し、ゼロカーボンに関する関心の喚起及び理解の深化を図りました。今後も取組を継続することで、より多くの地域住民等がゼロカーボンに関心を持ち、その実現に向けて取り組むことにつながることを期待します。</p>

No	事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
30	雪国文化伝承の宿事業	おたり自然学校	<p>運営している体験型古民家民宿のHP作成による情報発信の強化と、雪国文化を体験するツアーの実施により、小谷村への来村者増加を目指すとともに、雪国小谷村らしい暮らしに触れる機会を創出する。</p> <p>①HP作成費(611千円)、爪かんじき購入費(70千円)</p>	680,500	544,000	<p>体験型古民家民宿「ひじくらアッチ」のホームページ作成及び爪かんじきを活用した体験ツアーの造成により、小谷村の暮らしの魅力発信を図りました。</p> <p>引き続き、作成したホームページの活用による情報発信など、小谷村の魅力の発信につながる取組に期待します。</p>
31	小谷村平間地区における棚田休耕田利用のキャンプサイト整備事業	小谷村平間地区 景観拡散委員会	<p>過疎化が進む集落において、荒廃地となった休耕田を有効活用することで地域の活性化につなげるため、景観の良い棚田休耕田に特徴のあるキャンプ場を整備する。</p> <p>①テラス付きサイト整備(116千円)、ドラム缶風呂整備(137千円)、水場整備(87千円)、その他(事業費64千円) ②テラス付きサイト整備(779千円)</p>	1,181,053	818,000	<p>荒廃地となった棚田休耕田を整備してキャンプサイトを設置し、休耕田の有効活用を図りました。</p> <p>今後も整備したキャンプサイトの維持及び情報発信を継続することで、利用者が増加し、地域の活性化につながることを期待します。</p>
32	小谷村伊折地区の新地域特産物のブランド化推進事業	伊折農業生産組合	<p>高齢化する農山村の維持と魅力づくりのため、令和3年度に新たに栽培を始めた農産物の栽培の方法・環境の検証を行うとともに、それらの商品化に向けた施策に取り組む。</p> <p>①栽培検証(284千円)、加工品試作(385千円)、キット商品試作(166千円)、体験提供(22千円) ②保管庫(107千円)</p>	962,129	763,000	<p>令和3年度に実施した試験栽培を踏まえ、栽培方法及び栽培環境の検証を行いました。</p> <p>また、栽培したハーブ等の加工品試作やキット商品開発を行ったほか、ハーブ等を活用した体験講座を実施しました。</p> <p>引き続き作業の効率化・省力化や顧客の確保に取り組む、高齢化や短時間労働にも対応した持続可能な農業モデルが構築されることを期待します。</p>
33	北アルプス山麓育ち観光誘客事業	「北アルプス山麓育ちin首都圏」実行委員会	<p>北アルプス地域へのインバウンドを含めた観光誘客を促進するため、今後の事業実施に向けて台湾を訪問するほか、北アルプス地域でしか味わえない「食」を活用して観光振興を図るため、「スイーツ」をターゲットに国内の需要喚起を図る。</p> <p>①台湾プロモーション費用(事業費790千円)、スイーツプロジェクト事業(事業費1,795千円)</p>	2,583,771	2,039,000	<p>昨年度に引き続き、台湾を海外プロモーションのメインターゲットとし、次年度の事業実施への協力を依頼するため、台湾の行政機関、学校、旅行会社等を訪問しました。</p> <p>また、北アルプス地域の「食」を通じた観光振興を図るため、オリジナルスイーツのスタンプラリー及びPRを行いました。</p> <p>今後も市町村等と連携し、当地域の魅力を広く発信し、誘客及び地域活性化につながる取組となることを期待します。</p>
34	北アルプス山麓ブランド活性化推進事業	北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会	<p>北アルプス山麓ブランド品の海外展開や認知度の向上を図るため、台湾の日本食スーパーとの商談会、台湾における物産展の開催、北アルプス山麓ブランド品のPR活動等を実施する。</p> <p>①広報活動費用(286千円)、認定品活用推進費用等(1,078千円)、販路開拓推進(138千円)</p>	1,500,000	1,200,000	<p>北アルプス山麓ブランドの海外展開として、台湾の日本食スーパー「裕毛屋」と商談会を実施するとともに、「裕毛屋」で物産展を開催しました。</p> <p>また、北アルプス山麓地域で生産される農畜産物等のブランディングや認知度向上のための取組を実施しました。</p> <p>引き続き関係団体と連携し、当地域の農畜産物等の魅力を広く発信することで、ブランド品としてさらに認知が広まり、販路拡大・販売促進につながることを期待します。</p>